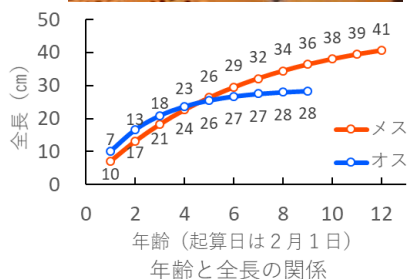


アカガレイ

1 生態

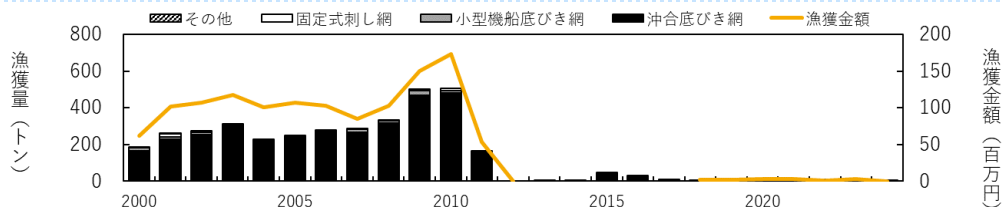
- ・茨城県以北、日本海、オホーツク海に分布し、常磐海域では主に水深100～600mに生息します。季節的な深浅移動を行い、1～3月には水深100～200mの海域で多く漁獲されます。産卵期に沿岸への冷水波及が強い年は、100m以浅への移動、分布が強まります。
- ・メスは5歳で36%、6歳で67%、8歳以上でほとんどの個体が成熟します。オスは満2歳から成熟します。産卵期は2～4月です。
- ・クモヒトデ類、オキアミ類、ホタルイカモドキ類、ハダカイワシ類等を食べます。

＊福島県水試研究報告第13号（2006）により右図を作成



2 漁業に関する情報

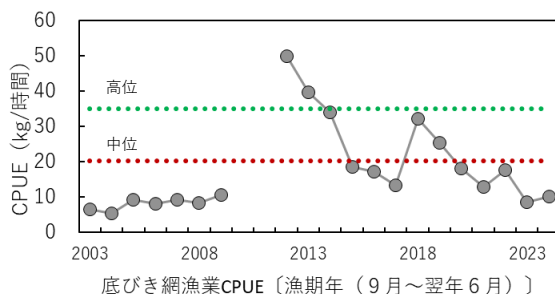
- ・主に沖合底びき網で周年漁獲されています。
- ・2024年（令和6年）の漁獲量は1.6トン、金額は0.3百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）10月から再開されています。



漁業種類別漁獲量と漁獲金額の推移 ＊2013～2017年まで相対取引のため金額データ無

3 資源の状態

- ・資源の水準：低位、資源の動向：減少
- ・底びき網漁業のCPUE（曳網1時間あたりの漁獲量）は、2013年漁期から減少し、2018年漁期に資源の増加が見られましたが、2020年漁期以降は震災前と同程度の低水準で減少に推移しています。



4 資源管理の取組み

- ・現在、実施されている取組みはありません。